

平成26年度事務事業評価表【評価版】の見方

おもて面

事務事業評価表【評価版】（平成26年度実績）

★事務事業の担当
所属名を表示

【 529】

事業名：男女共同参画啓発事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進	戦略	
取組の基本方針	03 男女共同参画による市政運営の推進	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	平成14年度	終了年度	—
		補助金の性格	

★政策・施策・基本事業
第6次江別市総合計画の
施策体系を表示

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市職員

★対象
事務事業の対象となる物・人などを記載

★補助金
補助金等を支出
している場合、
その性格を記載

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・講演会等を開催し、男女共同参画に関する情報発信と意識啓発を行う。
- ・男女共同参画審議会を開催し、市の政策推進等に関する意見をまとめる。

★手段
この事務事業の具体的な手段・手法を記載
補助金等を支出している場合、その根拠等を記載

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・男女共同参画意識が高まる。
- ・男女共同参画の視点により、施策や事務事業が実施される。

★意図
この事務事業によって対象を
どのようにするのかを記載

年度別の各指標の推移を表示
※「—」と記載しているものは、
指標の変更等があったことを
示しています。

指標・事業費の推移

区分		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度当初
対象指標1	市民	人	121,385	120,802	120,355	120,335
対象指標2	市職員数	人	1,133	1,143	1,151	1,151
活動指標1	講演会等開催回数	回	3	5	3	4
活動指標2	審議会開催回数	回	2	1	1	3
成果指標1	講演会等参加者数	人	268	219	137	150
成果指標2	男女共同参画の必要性を感じた人の割合	%	0	87.2	85.7	90
事業費(A)		千円	706	1,197	299	908
正職員人件費(B)		千円	4,008	7,813	1,571	1,956
総事業費(A+B)		千円	4,714	9,010	1,870	2,864

★対象指標
★活動指標
★成果指標
対象・手段・意図
を測る具体的な
指標名を表示

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発講演会等の開催 ・デートDV防止啓発リーフレットの作成、配布（4大学新入生等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等開催経費 67千円 ・デートDV防止啓発リーフレット作成経費 91千円 ・審議会開催経費 46千円

★事業内容・費用内訳
評価対象年度の具体的な取組内容と、
それにかかった主な費用の内訳を記載
※主なもののみ記載しているため、
合計金額が上の事業費計（A+B）と
一致しない場合があります。

★事業費・正職員人件費
年度別の事業費を記載
人件費は、各事務事業に
要する正職員の人件費を
一人当たり単価から計算
して表示

平成26年度事務事業評価表【評価版】の見方

うら面

★事業開始背景
この事務事業が開始された時点で特徴的な事象があれば記載

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
平成11年6月、「男女共同参画社会基本法」が制定されたことを契機として、江別市においては、男女共同参画社会の実現を目指し、平成14年に、「江別市男女共同参画基本計画」を策定し、計画に基づく取組みを推進することとした。計画では、男女共同参画に関する認識を深めることが、男女共同参画社会実現に向けた基本とされ、また、男女共同参画推進委員会を設け、開始に至った。	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> -男女共同参画社会基本法の成立、施行(H11) -北海道男女平等参画推進条例制定(H13) -江別市男女共同参画基本計画策定(H14.6月：計画期間H14～H23) -男女雇用機会均等法改正(H13) -配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(H13、一部H14施行) -江別市男女共同参画を推進するための条例制定(H21.3月制定、4月施行) -江別市男女共同参画基本計画(2009年改訂版)策定(H21.3月：計画期間H21～H25) -第3次男女共同参画基本計画閣議決定(H22.12月) -江別市男女共同参画基本計画策定(H26.3月：計画期間H26～H35) 	

★事業を取り巻く環境変化
この事務事業が立案された当時などと比較し、社会情勢や時代の変化によって事業を取り巻く環境が変化したことを記載

平成26年度の実績による担当課の評価（平成27年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？（目的妥当性）	
<p>★評価（1） この事務事業が税金を使って行政が行うことが適切かどうかを評価する項目</p>	<p>妥当である</p> <p>妥当性が低い</p> <p>理由根拠</p> <p>「男女共同参画社会基本法」において、地方公共団体は、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策を実施する責務を有するとされている。また、「江別市男女共同参画を推進するための条例」において、市は、男女共同参画を推進するための基本計画を策定するとともに、啓発活動を行うこととされている。本事業は、基本計画に基づく意識啓発を主たる目的としており、市の役割に適うものである。</p>
(2) 上位計画等（総合計画・個別計画等）への貢献度は大きいですか？（上位貢献度）	
<p>★評価（2） この事務事業が属する総合計画体系上の基本方針、個別計画の達成に貢献しているかどうかを評価する項目</p>	<p>貢献度 大きい</p> <p>貢献度 ふつう</p> <p>貢献度 小さい</p> <p>理由根拠</p> <p>平成26年度に策定された「江別市男女共同参画基本計画（計画期間平成26年度～平成35年度）」では、男女平等・共同参画社会の実現に向けた意識づくりの啓発を、重点目標の1つに掲げ、そのための取組みを進めていくこととしている。本事業は、主として基本計画に合わせた意識啓発を行うものであり、上位貢献度は大きい。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？（成果動向及び原因分析）	
<p>★評価（3） この事業の成果が計画どおり上がっているかどうかを評価する項目</p>	<p>上がっている</p> <p>どるかとはいへませんが上がっている</p> <p>上がっていない</p> <p>理由根拠</p> <p>平成26年度実績に対する成果指標については、「講演会等参加者数」は、民間団体と企画段階から連携のうえ共催するとともに、幅広い周知に努めたものの、計画を若干下回る結果となった。一方、「男女共同参画の必要性を感じた人の割合」は、ほぼ横ばいであるものの、8割を超える高い水準であることから、本事業の成果は一定程度上がっているものと考えられる。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？（成果向上余地）	
<p>★評価（4） この事務事業の成果が現状よりも向上する可能性があるかどうかを評価する項目</p>	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小・なし</p> <p>理由根拠</p> <p>性別による固定的役割分担意識は、長い時間におわり、社会制度や慣習と結びついてきたもので、男女共同参画に関心の低い層が根強く残っている。こうした層をターゲットに、意識啓発を働きかけることにより成果向上の余地がある。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？（効率性）	
<p>★評価（5） この事務事業の成果を落とさずさらに効率的にコスト削減して事業を実施する方法があるかを評価する項目</p>	<p>ある</p> <p>なし</p> <p>理由根拠</p> <p>講演会の開催経費や啓発パンフレットの印刷数など、事業に要する経費の削減を進めてきており、これ以上のコスト削減は事業の縮小、成果の低下を招く。</p>